

ちょっと待って！ その花特定外来種かも!?

最近、町内でオオキンケイギクとオオハンゴンソウが繁殖しているのを見かけます。
どちらもキク科の植物で、病害虫に強く、黄色の綺麗な花を咲かせるので家庭で育てている方もみえます。
しかし、どちらも繁殖力の強い特定外来生物に指定された植物ですので、野生化したものは積極的な駆除を呼びかけています。

オオキンケイギク



オオキンケイギクは、黄色い花を咲かせる北アメリカ原産の植物で、特定外来種に指定されています。

見た目は綺麗ですが繁殖力が強く、他の植物の成長に大きな影響をあたえるため、種を付ける前に駆除する必要があります。

河川敷や住宅地など、人が住むエリアを中心に群生しており、株になってどんどん広がっていきます。葉に荒い毛があるのが特徴です。

根っこから抜き取り、乾燥させてから燃えるゴミに出してください。

絶対に土に埋めたり、放置しないでください。

オオハンゴンソウ



オオハンゴンソウも、黄色い花を咲かせる北アメリカ原産の植物で、7月から9月頃に開花し、花弁がやや垂れ下がっているのが特徴です。

ルドベキアという商品名で数種類が存在しますが、もとは日本には無い種類で、育てる時は野生化させないように管理する必要があります。

オオハンゴンソウは、自分の周りに他の植物を生えさせないようにする特殊能力があり、あっという間に広がっていきます。

去年は生えて無かったのに、今年になって急に増えていませんか？

こちらも根こそぎ駆除する必要があります。